

追記【計画書：48 ページ】

第6章 東浦町地域公共交通計画変更の趣旨

2022年3月に策定された東浦町地域公共交通計画は、2020年度から2026年度までを計画期間としていますが、東浦町地域公共交通利便増進実施計画（最長期間5年間）と連携するため、本計画期間を2年6か月延長（2022年4月1日から2029年9月30日まで）することとします。

東浦町では巽ヶ丘駅及び知北平和公園への乗り入れなど路線編成の大幅な変更を2024年10月に行うことで、地域特性や実情に応じた最適な生活交通ネットワークを確保・維持していきます。特に、巽ヶ丘駅への乗り入れでは、民間バス事業者と経路や停留所が重複するため、運賃を統一する等わかりやすさ・利便性の向上を図る、民間バスと「う・ら・ら」の連携・強化を新規事業として計画しています。

また、地域公共交通確保維持改善事業費補助金による支援を活用し、公共交通の維持・確保を図っていくため、本計画では各路線の運行概要と補助対象路線の位置づけをしています。

なお、「う・ら・ら」の利用者数の目標値は、2021年2月の改正以前である2020年度、かつコロナ禍の影響を大きく受けた実績値をもとに設定していましたが、改正後の利用データが蓄積されてきたことから、一部の項目については利用実態に即した数値目標に変更します。

以降は、当初の東浦町地域公共交通計画から変更する部分のみを掲載するものとし、章や節については、当初計画のまま記載することとします。

第7章 地域公共交通確保維持改善事業費補助金

地域公共交通確保維持改善事業費補助金とは、地域特性や実情に応じた最適な生活交通ネットワークを確保・維持するため、地域間交通ネットワークを形成する地域間幹線系統の運行について、国土交通省が交通事業者等へ交付する補助金のことです。

本町においても、当該補助金による支援を活用し、公共交通の維持・確保を図っていきます。

1 補助対象路線



2 各路線の運行概要と補助対象路線

位置づけ	路線	起点	経由	終点	事業 許可区分	運行態様	実施主体	補助事業 の活用	
広域幹線	JR 武豊線	大府駅	緒川駅	武豊駅	第一種 鉄道事業	定期運行	交通事業者	—	
	名鉄河和線	太田川駅	巽ヶ丘駅	河和駅			交通事業者	—	
準広域幹線	知多 バス	刈谷中部空港線	知立駅前	緒川駅前	中部国際空港	路線定期 運行	交通事業者	—	
地域幹線	大府線	大府駅前	長寿医療研究センター	げんきの郷	一般乗合 旅客自動車 運送事業			路線定期 運行	幹線
	東ヶ丘団地線	巽ヶ丘駅前	東ヶ丘	巽ヶ丘駅前					幹線
	長寿線①	緒川駅東口	あいち健康プラザ	長寿医療研究センター		幹線			
	長寿線②	あいち健康プラザ	尾張森岡駅西	緒川駅東口	一般乗合 旅客自動車 運送事業	路線定期 運行	東浦町 (運行は 交通事業者に 委託)	—	
	刈谷線	緒川駅東口	刈谷豊田総合病院	刈谷駅南口				幹線	
	藤江線①②	緒川駅東口	東浦駅	巽ヶ丘駅				幹線	
	藤江線③	東浦駅	平池台	巽ヶ丘駅				フィーダー	
	藤江線④	東浦駅	イオンモール東浦	緒川駅東口				フィーダー	
	新田線①～④	緒川駅東口	イオンモール東浦	巽ヶ丘駅				幹線	
	新田線⑤	緒川駅東口	—	相生の丘				フィーダー	
支線	高校線	緒川駅東口	東浦駅	緒川駅東口				—	
個別輸送	一般タクシー	町全域			—	—	交通事業者	—	
	福祉有償運送	町全域			—	—	福祉事業者	—	

3 補助対象路線の必要性

<p>「う・ら・ら」 長寿線</p>	<p>「う・ら・ら」長寿線は、東浦町と大府市の拠点間を結ぶ路線であり、通勤通学、買物、通院等の日常生活の移動手段として利用されています。</p> <p>起点の緒川駅東口のバス停において JR 武豊線、「う・ら・ら」の他路線及び知多バス「刈谷中部空港線」への乗り継ぎ、げんきの郷・あいち健康プラザ・長寿医療研究センターのバス停において大府市ふれあいバス及び知多バス「大府線」への乗り継ぎが可能になっており、公共交通ネットワークを構築する上で特に重要な役割を担っています。</p> <p>一方で、自治体や事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要があります。</p>
<p>「う・ら・ら」 刈谷線</p>	<p>「う・ら・ら」刈谷線は、東浦町と刈谷市の拠点間を結ぶ路線であり、通勤通学、買物、通院等の日常生活の移動手段として利用されている。</p> <p>起点の緒川駅東口のバス停において JR 武豊線、「う・ら・ら」の他路線及び知多バス「刈谷中部空港線」への乗り継ぎ、刈谷豊田総合病院のバス停においてへ刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」及び高浜市内循環バス「いきいき号」の乗り継ぎ、終点の刈谷駅南口のバス停において JR 東海道本線、名鉄三河線及び刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」への乗り継ぎが可能になっており、公共交通ネットワークを構築する上で特に重要な役割を担っています。</p> <p>一方で、自治体や事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要があります。</p>
<p>「う・ら・ら」 藤江線</p>	<p>「う・ら・ら」藤江線は、東浦町と知多市・阿久比町の拠点間を結ぶ路線であり、通勤通学、買物、通院等の日常生活の移動手段を担います。</p> <p>起点の緒川駅東口のバス停において JR 武豊線、「う・ら・ら」の他路線及び知多バス「刈谷中部空港線」への乗り継ぎ、終点の巽ヶ丘駅のバス停において名鉄河和線、知多バス東ヶ丘団地線、知多市コミュニティ交通 あいあいバス及び阿久比町循環バス「アグピー号」への乗り継ぎが可能になっており、公共交通ネットワークを構築する上で特に重要な役割を担うこととなります。</p> <p>また、「う・ら・ら」藤江線の一部系統は、主系統を補完するとともに、新田線その他の系統に接続し、これらに乗り継ぐための役割を果たすこととなります。</p> <p>一方で、自治体や事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要があります。</p>

<p>「う・ら・ら」 新田線</p>	<p>「う・ら・ら」新田線は、東浦町と知多市・阿久比町の拠点間を結ぶ路線であり、通勤通学、買物、通院等の日常生活行動での移動手段を担います。</p> <p>起点の緒川駅東口のバス停において JR 武豊線、「う・ら・ら」の他路線及び知多バス「刈谷中部空港線」への乗り継ぎ、経由地の知北平和公園のバス停において大府市ふれあいバス及び東海市内循環バス らんらんバスへの乗り継ぎ、終点の巽ヶ丘駅のバス停において名鉄河和線、知多市コミュニティ交通 あいあいバス及び阿久比町循環バス「アグピー号」への乗り継ぎが可能になっており、公共交通ネットワークを構築する上で特に重要な役割を担うこととなります。</p> <p>また、藤江線・新田線の一部系統は、主系統を補完するとともに、その他路線の系統に接続し、これらに乗り継ぐための役割を果たすこととなります。</p> <p>一方で、自治体や事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要があります。</p>
------------------------	--

※上記路線については、減価償却費補助等も活用し運行を確保・維持してゆく。

※大府線・東ヶ丘団地線は、愛知県地域公共交通計画において位置づけ。